


〔 コト 〕  
「人工知能はドリンク販売の  
営業をするか？」



弦楽器イルカ+友人

## 登場人物

---

登場人物 (特徴)

ニコニコドリンク株式会社 会長 (えらい)

社長「高橋」 (真面目)

エクセレントロボット株式会社 営業本部長「田中」 (おしゃべり)

ソフト開発部「木下」 (インテリメガネ)

「自動販売機」 A・B・C

## 【導入】

---

舞台、向かって中央より少し上手側に、椅子が二つ並んでいる。  
そこに、会長と社長が座っている。一方、下手側の田中、木下両氏は立って、二人と対峙している。

社長 それでは、始めてもらいましょうか、会長。

会長 うむ。

社長 今回の自販機は、エクセレントロボット社さんが作った絶対の自信作ということで、会長も大変な期待を寄せています。

田中さん、ぜひともよろしくお願いしますよ。

田中 いえいえ、こちらこそ。あ、申し遅れました。私、エクセレントロボの田中です。よろしくお願いします。え、ではですね、今回ご紹介させていただく自販機は、ハイパーソフト社との共同開発によって誕生した、世界初の試みとなります「人工知能を搭載した積極営業型自販機」です。

会長・社長 ほお……

田中 見た目はまったく普通の自販機なのですが、本体の中にウルトラコンピュータを搭載しておりまして、お客様との会話をこなしつつ、積極的にドリンクを売り込みます！

会長・社長 おおー！

会長 しゃべるのか？

田中 そりゃもう、しゃべりマクリスティー！（目を見て、きっぱり）

会長 は？

田中 あ、会長はしゃべりまんシエルのほうでしたか？

会長 （社長に向かって）……本当に大丈夫なのかね。

社長 もちろんです会長、ね、田中さん、大丈夫ですよ？

田中 そりゃもう、だいじょぶシェイムです！

会長 （社長に向かって）……なんか怪しい人じゃないのか？

社長 大丈夫ですよ。それで、その自販機は、普通に会話ができるんですね？

田中 普通以上に会話ができます！（きっぱり）

会長 ほお、それはすごいな、いやすまん、私はどうも機械に弱くてね。新しいものには疑ってかかるクセがあるのかもしれない。失礼した。

田中 いえいえ、こちらこそとんだご無礼を。ご無礼ダルクを。

（ちょっと、間）

えー、それではさっそく、わが社が開発した自慢の自販機たちをご覧頂きたいと思いますが、木下君どれがいいかな？

木下 はい。ただいま3種類のイメージプログラムが用意されていまし  
て……。まず、大手家電量販店ドッキリカメラの「伝説の  
ケータイ売り」武藤さん、それと、激戦区の環七通りで高級外車  
の売り上げ、3年連続でトップ、ディーラー界の「教授」こと  
財善氏、そしてなんと、新宿は歌舞伎町で今人気NO.1のキャバ  
クラ「スーパーフリフリ」から、お好みのカリスマキャバ嬢を  
お選びいただけるコースまでご用意しました。

会長 なんと、キャバ嬢まで！

木下 （会長の手を取って）ぬかりなしです。お客様のご要望には  
百パーセントこたえるのがわが社のモットーですから。

会長 そりゃ面白いな、どれ一つその、キャバ嬢とやらを……

社長 会長！

会長 いやいや、なにほら、仕事だよ仕事、まさか本気でそんなキャバ  
嬢とやらを。第一、私には銀座の高級クラブにゆかりって女がいる  
わけだし……。あ、私事で失礼した。しかし高橋くんもなんだ、  
ホントに固いなキミも。

社長 はい、真面目さだけがとりえの社長ですから。

会長 は、何を言うか。自分でそこまで言えるやつはめったにおらんよ。  
そこを気にいって私もキミを社長にしたんだ。まあいい、じゃ高橋  
くんはどれにするかね。

社長 はい。ドッキリカメラの勢いのある販売方法には、以前から興味が  
ありましたので、ぜひ武藤君を見てみたいのですが。

会長 そうだな、実は私も興味があったんだ、ドッキリカメラには。

田中 それでは、さっそく武藤くんを持って参ります。

田中・木下退出。

## 【自動販売機A ①】

---

社長 楽しみです。今回のプレゼンには我がニコニコドリンク社の命運がかかっていますからね。今回こそは完璧でしょう。

会長 そうだな。あのにつくきゴクゴクドリンク社を抜いて、業界シェアナンバーワンの座を確保せにゃならんからな。

遠くから「いらっしゃいませー」「いらっしゃいませー」と聞こえてくる。  
一見普通の自販機と田中（ハッピー姿）登場。木下はなぜかいない。

自販機A・田中（ハッピー） いらっしゃいませー、いらっしゃいませー！

自販機A っさあ！お安くなっておりますよおー、っさあ！本日は全品が、お買い特ですよおー、ご利用くださいませー！

会長 ……なんだ、これは？

田中 これが、21世紀型自動販売機なのです！どうですか！

社長 すばらしい！

会長 そうか？

田中 実際にお試しいただければ、これがいかに優れたマシンであるか、十二分に伝わると確信しています。

社長 そうですよ、会長、ここはひとつ、ご自分で確かめるべきかと。

田中 ささ。ではこちら、お金を自販機に投入してください、会長。

会長 うーむ。

会長、恐る恐る自販機に向かい、小銭を入れる。

自販機A いらっしゃいませー、ご利用くださいませー。

会長 うーん、何をどうすればいいのやら。

自販機A おっ、お客様、ドリンクをご検討でいらっしゃいますか？

会長 あっ、えー、あー、コーヒーでも買おうと思っ取るのだが……

自販機A なんと、コーヒーですか！さすがお目が高いお目が高い。コーヒーと言えばこちら、スーパーニコニコブラックがただいま大変売れておりますよー。（ニコニコブラックが点滅）

会長 いや、私は砂糖とミルクがないと……

自販機A そうです。わかっておりますとも。相変わらずお目が高い、ただいまこちらのニコニコブレンドが、大変人気ですよー。（ニコニコブレンドが点滅）

会長 いや、私が飲むのはいつもニコニコゴールドのほうだが……

自販機A あ、まさにお目が高い！なんと、ゴールドのほうでしたらただいま、

「展示処分品」ということで、さらにお安くいたしますよ！

会長 展示処分品？

自販機A しかも、ドッキリポイントが、普段は10パー貯まるところを、今回は  
キャンペーン中ということで、15パーも貯まってお得ですよ！

会長 15パー？ なんだ、それで結局、いくらになるんだ？

自販機A えーと、こちらですとー……（カタカタカタ）

## 【自動販売機A ②】

---

自販機Aのモニターに「120円」の表示がされる

自販機A この金額になります。

会長 え？ それが普通じゃないのか？

自販機A ……あー、普通ですかあー。あっ、お客様、ひょっとして、「ビック」さんのほうにも行かれました？

会長 ビックさん？

自販機A あれ、「ヨド」さんのほうでしたか？ いやー、「ヨド」さんも手ごわいなー。

会長 いや、「ヨド」にも「ビック」にも行ったことなど……

自販機A さすが、お客様。実にお目が高い。では少々お待ちいただけますか、上司に相談してまいりますので……

自販機A (こそこそ)

田中 (こそこそ)

自販機A お待たせいたしました。えーお客様の熱意に負けました。

今回限りですね、赤字覚悟ですが、このお値段で、……  
(ひそひそ声で) ヨドさんには内緒ですよ。

自販機Aのモニターに「120円」の表示がされる。

会長 な、同じじゃないか！ 私をバカにしとるのか！

自販機A そんなめっそもない。お客様ホントお目が高い。お客様、実は当方、店頭価格はもちろんですが、むしろお得なドッキリポイントカードで勝負してるんですよ。

会長 ポイントカード？

自販機A あ、ご存知ありません？ (早口で淡々と棒読み) ドッキリポイントカードの特徴としましては、ポイントは「使う」と「貯める(強調)」がありまして、明日以降お買い物された時からご利用いただけます。1年間お買い物されないと、ゼロになってしまいますのでご注意ください。

会長 ちょ、待て……

自販機A それと万が一すでにポイントカードをお持ちでしたら、それをお持ちいただきますと、ポイントを統合いたします。あとは、こちらはご本人さまのみご利用できまして、ご家族の方でも共用できません

ので、ご了承ください。それと、貯まったポイントと最後にお買い物された日付はこちらの表面に表示されますので、ご確認ください。

クレジットカード等でお買い物されたときはポイント7パーしかつきませんから、現金のほうがよりお得……

会長 いい、いい、もう説明は充分だ、とにかくなんでもいいから缶コーヒーを売ってくれ！

会長、ボタンを押す。缶がでてくる。

自販機A・田中 ありがとうございます。また、ご利用くださいませー！

自販機Aと田中、一時退出。



## 【自動販売機B ①】

---

会長 ふー。

田中と木下が戻ってくる。

社長 すばらしいですね！

田中・木下 ありがとうございます。

社長 いやしゃべるしゃべる。本当に中に人が入ってるかのような……

田中・木下 えっ!?

社長 あれですか、それが例の、しえべりま、えと、しえべりまんブラザーズ  
バンドでしたっけ？

田中 いや、そんなめっそもない、やはり機械は機械ですよ、ねえ、木下  
くん。

木下 そ、そうですよ、科学の発展はまだまだこれからですよ。

社長 何も謙遜なさらなくとも。どうでした会長。著しい進歩でしたね。

会長 いや、私はどうも、コンピューターというのはやはり苦手かもしれんな。

田中 それでは続いての自販機のご紹介にうつらせて頂きます。

社長 次は、たしか、ディーラーでしたね。教授とかなんとか……

田中 そうです、財善氏です。すぐに準備できるな木下君？

木下 え？ あ、はい、すぐ準備します。

田中 それでは、いったん失礼します。

木下 失礼します。

田中・木下退出。

社長 いや、期待が持てますね、会長。

会長 そうか？ 不安に思うのは私だけかな。

自販機B・田中登場。またも木下はいない。

社長 では、会長！ ぜひどうぞ。

会長 ああ。（お金を入れる）

自販機B いらっしゃいませ、営業担当の財善と申します。

自販機から名刺が出てくる。社長、それを両手で丁寧にとる。

会長 あ、どうも。

自販機B よろしくお願ひします。

会長 いや、あの、ニコニコゴールドを買おうかと思うのだが.....

自販機B ありがとうございます。まずは「試飲」をされることをお勧め  
しますが？

会長 シイン!?

自販機B 試し飲みのことでございます。

会長 いや、シインはいい。今すぐ買って飲みたいんだ。

自販機B いますぐ、購入されるのですか！ いやー、見事なご英断。では、  
さっそくお見積もりを出させていただきますと思います。

オプションは何をお付けしますか？

会長 オプション？ ...いや、オプションていうのか、じゃ強いていうなら、  
ミルクと砂糖をちょっと多く入れてほしいのだが。

自販機B ああ、お客様、大変申し訳ありません。あいにくですが、当方の  
オプションにミルクや砂糖はございません。

会長 なに!?! じゃあ何があるのかね？

## 【自動販売機B ②】

---

自販機B それはもちろん、ポリマー加工ですとかプライバシーガラスといったオプションが人気ですが.....

会長 なんだその、ポリマー加工ってのは？

自販機B ご存知ありませんか？ 缶の表面を特殊加工して、水をかけるだけできれいに簡単に「洗缶」ができるシステムですが。

会長 センカン!?

自販機B 缶を洗うことです。この自販機のこの部分、ここですね（一部光る）。ここに缶を入れますと、自動で缶を洗缶いたします。

お客様は普段、洗缶されませんか？皆様されてらっしゃいますが。

会長 せんよ！洗缶など、だいたい.....

自販機B あ、洗缶されない方ですか、でもお客様、されないのでしたら、なおさらポリマー加工はお付けしたほうがよろしいかと思えますよ、缶に傷がついてからでは遅い.....

会長 いや、そんなのはいい。とにかくあれだ、普通の缶コーヒーをくれ。普通でかまわん。

自販機B 普通？お客様、それはつまり、どノーマルということでしょうか？

会長 ああ、そうだ、そのどノーマルでかまわんよ。それをくれ。

自販機B どノーマル！いまどき！お客様、どノーマルですと、「カンナビ」はおろか「カンオーディオ」すら付かないのですよ、それでもいいと.....

会長 缶にナビなんかいるか！

自販機B なんとまあ、缶ナビがなければ、捨てた缶の位置がわからないんですよ、今埋立地かな、それともリサイクル工場かな、あの手に汗握るドキドキ感を、お客様みすみす手放すおつもりで.....

会長 ないよ、そんなドキドキ感、ないから！

自販機B いやあ、あれを味わずしていったい何を味わうおつもりか、理解に苦しみますが.....

会長 中身だよ、味わうのは中身！キミ、うちの製品をバカにしとるのか、いいから、とにかく缶コーヒーをくれ！

自販機B そうですか。私の営業生活20年で、お客様のように愛缶精神のない方は初めてですが。非常に残念です。それでは一応、どノーマルですとこちらのお値段になります。

自販機Bのモニターには120円の表示。

会長 そう、それでいいんだ。

自販機B え、では、お色のほうはいかがなさいますか？

会長 色？

自販機B シルバー、ホワイト、メタリックブルーなど計六色のお色から……

会長 じゃシルバーでいい、もうなんでもいいから！

自販機B 「アルミックシルバー」ですか。かしこまりました。…お客様、こちらのシルバーですが、「納缶」が最短で来週の月曜日以降になりますが……

会長 来週！今ないのか今、缶コーヒーだろ、早くしろ！なんでもいって！

自販機B ではお色を「ブレイクタイムピンク」にさせていただきますと、「新古カン」になりますが、すぐに納缶できます。

会長 それでいい、かまわんから！

会長ボタンを押す。ピンクの缶がでてくる。

会長（缶コーヒーを一飲みする）わからん、味がまるでわからん！ピンクの缶なんて、なんか桃味のコーヒーを飲んでるみたいだ！

## 【自動販売機C ①】

---

田中・自販機B退出。

社長 どうでした会長、素晴らしい機能の数々でしたね。

会長 ダメだ、全然ついていけない。人工知能は確かにすごい気はするが、だいたい、電化製品や車と同じ手法で、ドリンクを売る必要があるのか。家電には家電の、車には車の、ドリンクにはドリンクのマーケティングってもんがあるはずじゃないのか。

社長 ……そうですかね。

会長 そうだ。今回あらためて思ったが、普通のしゃべらない自販機にも、それはそれで、味があって、こう、どこか優しくて、悪くないと感じたぞ。

社長 そうですか、…いや、確かに、そうかもしれませんね。

会長 そうだ。なんだか、古い自販機たちには申し訳ないことをしてしまった気がする。もういい。今回はすばらしい自販機を紹介してもらったが、わが社の方針とは、合わんということで、断ってくれたまえ。

社長 はい、かしこまりました。

田中・木下が戻ってくる。

田中 どうですか、素晴らしい自販機だったでしょう、これを導入すれば、御社の売り上げもウナギ登りですなー、ははは、ではでは、さっそく、この契約書にご印鑑を……

社長 ……田中さん、確かに、自販機は素晴らしかったのですが、なんと  
いうか、えー、大変申し上げにくいのですが、今回は、お断りしようかと、思うのですが……

田中・木下 え!!!

木下 ど、どうしてですか、社長！こんなにしゃべっても、まだ、しゃべり足りないというのですか！それとも、もっともっと、強気でいかなきゃ、ドリンクは売れないっていうのですか！それなら、もっとしゃべりますよ、強気で売りにいきますよ、私。いや、つまり、いますぐプログラムを改良できますよ、改良しますよ!!!

会長 いや、そういう問題じゃないんだよ。

田中 まあ、木下君、そんなに興奮しないで。社長、会長、すみません、最後にチャンスをください。せめて、スーパーカリスマキャバ嬢を見てからにしてください。おねがいします。

社長 しかし……

会長 （即答）よし、わかった。見てみよう。

社長 会長！

会長 まあいいじゃないか、武士の情けだよ、高橋くん。

田中 では少々お待ちください。

田中・木下退出。

社長 だって、よかったんですか？先に会長が断れと……

会長 まあまあ、ホントに真面目だなキミも。それともあれか、キミはキャバ嬢に嫌な思い出でもあるのか？

社長 ありません！まさか、私はキャバクラなど……

会長 なに、キミはまだキャバクラにも行ったことがないのか。

社長 いや、その……いえ、もちろん、ありません。

会長 なに、ホントかね、いまどきそんなで社会人とはいえんぞ。どれ、

そうだ、社会勉強だと思って、今度はキミが缶コーヒーを買ってみなさい。

社長 いや、私は結構です。

会長 会長命令だぞ、それとも何か、キミはやはりキャバ嬢と嫌な過去でも……

社長 ありません！わかりました。いいですよ、今度は私が買います！

## 【自動販売機C ②】

---

田中（ピンクのジャンパー）登場。

会長 じゃあ、社長！

社長 わかりました。

田中 いらっしゃいませ！ よっ、社長、この店初めてでしょ、安くしときますよ。本日もいい子が揃ってますから。さて、どの自販機ちゃんを指名されます？

田中、自販機の写真を何枚か見せる。

社長 指名？

田中 この子は若いですよ、なんていったって、シリアルナンバーも入ったばかりの000012ですよ！

社長 いや、どれも一緒でしょ、わかりませんよ違いが。いい、指名などいいですから。

田中 あ、お客様もしかして、指名料のこと気にしてます？ いいんですよ、初めての方は無料ですから。コカリンちゃん、ペプシーナちゃん、ダイドリッチちゃん、誰でもご指名いただけますよ。

社長 全部フィリピン系？

田中 あ、お客様日本製のほうが？ もちろん、お客様のような通な方には、ちゃんをご用意させてもらいますよ、日本製のいい子を。

社長 いや違う、私はただコーヒーが飲みたくて……

田中 まあまあ、そうおっしゃらずに。せっかくドリンクをおいしく飲もうっていうのに、自販機を指名されないんじゃ、仏作ってなんとやらですよ。わかりました、では、今回はお客様の顔を立てまして、当店NO.1カリスマ自販機嬢を紹介しましょう。さあ、どうぞ、どうぞこちらへ。

田中、社長を案内し、いすに座らせる。田中、自販機Cを持ってくる。

自販機C こんにちはあ。

社長 ……

自販機C 私、めぐです。よろしくお願ひします。

社長 めぐ？

自販機C あら、だれか違う女のコ思い出しちゃった？ いや、私の前で、他の女のこと考えちゃ、めぐも浮気しちゃうぞ！

社長 いや、違う、めぐちゃんじゃない、あのめぐちゃんは……

自販機C なに。お客さんどうしたの？めぐわかんない、ねえ、ところで、私も飲み物と乾き物とりたいなあ？あ、ちなみに乾き物は一番左下のボタン、ウーロンは右上にあるボタンだから、お客さん、押してえ、ここここ、なんて甘えちゃったりして、うふふ。

社長 ちがう！私のめぐちゃんは、私のめぐちゃんは、そんなことは言わない！

自販機C どうしたのお客さん？発作？

社長 私のめぐちゃんは、「乾き物でも頼もうか？」と聞いた私に「喉の渴きはお酒が潤してくれるけど、あなたの渴きは私しか潤せないの。ウルウル」って（さとう珠緒のポーズで）。そのウルウルのなんと清らかだったことか。妻や子供に去られても涙一つみせなかった私が、その瞬間に、熱い涙がぽろぽろと、乾いた体中に潤いが満ち溢れるのを私は堰き止めることができず、私は、私は……

自販機C （対応に困る）…えっとお、あたし違う席で呼ばれちゃったから、ちょ、違うコに変わるから、ね。ここで待ってて……

社長 待て、どこへ行く！めぐちゃん、なぜ私を置いていった、一年間毎日通い続けたのに、どこぞの男と行きずりの恋などに落ちて、めぐちゃんを返せ！私のめぐちゃんを！

田中 （取り押さえる）お客さん、向こう行きましょ、ね、ここでこんなしちやわかんないから、向こうでたっぷり話しましょ、ね。私たちが相手するから……

社長 いやだ、離せ、私のめぐちゃんを、めぐちゃんはもう誰にもやらんぞ！私のめぐちゃん！



## 【オチ ①】

---

社長、自販機Cを揺らす。外箱が外れる。なかには木下がマイクを手にして、座っている。

全員 あ！

会長 これはいったいどういうことだ！

木下 あわわ、あわわわ……

会長 なんかおかしいと思ったら、あんたが、自販機の中に入ってしゃべっていたのか？なぜだ、いったいなぜこんなことを……

社長 そうだ、私のめぐちゃんを、私のめぐちゃんをどこへやったー！

田中 お客様のめぐちゃんは、きっと今でもお客様のことと思ってますよ。

社長 気休め言うな！

会長 高橋くん、趣旨変わっとるって。いいかげん目を覚ませ！

社長 ですが会長、めぐちゃんはもう、おおよ（泣き崩れる）

会長 ホラ見ろ、あんたたちのせいであんな真面目な社長もいまや人格崩壊だ。まあ、真面目人間なんてこんなもんだ、とにかく、私たちをだました責任をどうとってくれるんだ！

田中 まあ落ち着いて聞いてください、私たちは、あなた方を騙しているつもりは全くありません。

会長 嘘だろそれ、さっきから！嘘つきが嘘をついていませんって言っても、それはやはり嘘なんだぞ！この嘘つき村の道案内が!!

田中 いいえ、私は正直村の正直ピエロットです（ピエロのポーズ。足を交差させ、ズボンの両太ももを引っ張る）ただ、今まで、黙っていた事実があるんです。

会長 事実ってなんだ！もう下手な言い逃れはできないぞ！

田中 すみませんでした。すべてをばらしますと、実は……実は、自販機用の人工知能は開発することができなかったのです。

会長 やはり、それで嘘をついたのか！

田中 違います。ただ、できなかったかわりに、私たちはまったく別の人工知能を作り出したのです。

会長 まったく別？

田中 実は木下くん、君こそがウルトラコンピュータを搭載した、人工知能ロボなんだ!!

一同 ええ!!!??（木下が一番驚く）

木下 そんなー、馬鹿なー!! 私が、ロボットだったなんて！

田中 ですから、御社におかれましては、ぜひこちらの木下型人工知能ロボットをご購入いただきたいのですが。

会長 買うか！

社長 買ってください、代わりでもいい、めぐちゃんを、会長、めぐちゃんを  
購入してください！

木下 いや、買わないで、買われたら困る。あ、でも買われなかったらもっと  
困るか、ああ、もうどっちだかわかんない！

田中 このように、優柔不断機能もついてより人間らしい接客ができますよ。

会長 いるか！

社長 買って！

木下 やっぱり買わないで！

田中 買うべきです。

会長 買わんよ！

田中 仕方ない、こうなったら奥の手だ。木下くんプログラミングした最終  
兵器を使うしかない。木下くん、脇の下のボタンを押させてもらうよ。  
こちょこちょ。

木下 わ、田中さん、ちょ、あはは、あははは……

田中 ぽちっとな。

木下 ぷしゅー。最終兵器、発動中。

会長 なんだ、いったい何が起こるんだ。

木下（態度が変わる）ふっふっふ、買わぬなら、買わせてみせようホトトギス。

## 【オチ ②】

---

木下、社長の首を両手で抱え込む。

木下 社長を人質として預かった。返してほしくば、私を買え！

田中 これぞ、セールスの最終進化系。人間の貨幣作戦なり！

会長 それすでにセールスじゃないだろ。卑怯にもほどがある！

田中 生き馬の目を抜く不況時代に、卑怯もお経もないのだ、わっはっは！

社長 大丈夫です、会長。こうしてめぐちゃんと二人きりになれるなら、私は死んでもかまいません！

会長 何を言うか、高橋くん！

社長 さ、一緒に行こうめぐちゃん。今度はキミを離さないよ。

木下 な、離せ、自分の状況わかってんのか！

社長 愛さえあれば、人と機械の壁など越えられるんだ。キミはただ、おびえていただけなんだよ。さあ、見つめてごらん、本当の私を。この瞳には、本当のキミが映っているだろう？

木下 社、社長さん.....

りんごーん、りんごーんと鐘が鳴り響く。

木下 ごめんなさい田中さん、私、この人と一緒に行きます。

田中 早っ、早すぎ、待て、君を開発した費用だけでも国家予算並みなんだぞ、そんなにくろっと恋に落ちてどうする！

木下 作ってくれてありがとうございます。でも私は、本当の私を愛してくれる人と、一緒にいくことに決めました。こんな機械の私を、はじめて、必要としてくれる人がいたのですから。

田中 早まるな、考え直せ木下くん！

会長 見苦しいぞ！人様の愛に水を注すな。...高橋くん、久々にいいモノを見せてもらったよ。まるで私の若い頃を見るようだ。よし、木下くんは私が買おう。

三人 会長！

社長 そんなことされては.....

会長 気にするな。その愛、プライスレス。さあ、いくらなんだ。全額、私のポケットマネーから出すぞ。

田中 ありがとうございます。ですと、木下型人工知能ロボット、正式名称日本製バナナイエローⅠ型ですので、しめて八億円になります。

会長 なに、八億！

田中 フィリピン製オリエンタルブラックⅡ型なら三億までお安くできるの

ですが。

会長 馬鹿な、たかが自販機だろ、そんなものが買えるか！

田中 会長、あれだけ買うと大見得を切っておきながら、もしや嘘をつくつもりですか？白でも黒でもない、嘘つき村のグレイじいさんになるおつもりですか？

会長 知るか！行くぞ高橋くん、出直しだ！

社長、会長に首根っこを引きずられながら。

社長 ああ、めぐちゃん、ボクのめぐチャンが！

木下 ああ、社長さーん！

社長と会長、退場。

## 【大オチ】

---

田中と木下、二人が去ったのを見届けてから、肩をすくめる。

田中 行ったようだな。あの二人……

木下 うまくごまかせましたね、田中さん。

田中 ああ、会長が最後に買うって言ったのには驚いたがな。

木下 私も、あの社長がめぐちゃんにこんなにも食いつくとは思いませんでした。

二人、悪巧みの顔で。

田中 しかし、会長があきらめてくれてよかった。本当の自販機は先にゴクゴクドリンク社に売り渡したってことがばれたら、ただじゃすまないからな。

木下 はい、でも田中さんの嘘はホント超一流ですね。どうやったらそんなにポンポン嘘が飛び出すのやら。

田中 ただな、木下くん、実は一つ、嘘じゃないことがあるんだが。

木下 え？ ……それって、まさか。ないですよ、私が、ロボだって……

田中 （頷きながら）実はね。

…俺、グレイの元五人目のメンバーだって言ったら、信じる？

二人、沈黙。

木下 なんだ、んなの、信じるワケないじゃん。ははは！

田中 やっぱり？ はっはっは。

木下 ホント嘘つきだなこのロボット。

木下、田中のおでこをでこピンする。

田中 はは、え？

突如、田中の動きがガクンと止まる。

田中 ぶすがしゅぷしゅー、ガクン。

田中、木下に体重をもたれるようにしてうなだれる。

木下 さて、早いところコイツをゴクゴクドリンク社に売り渡せば、三階級出世も

夢じゃないぞ！

木下、田中を肩に乗せ、そのまま引きずるようにして舞台から退場する。

終わり。